

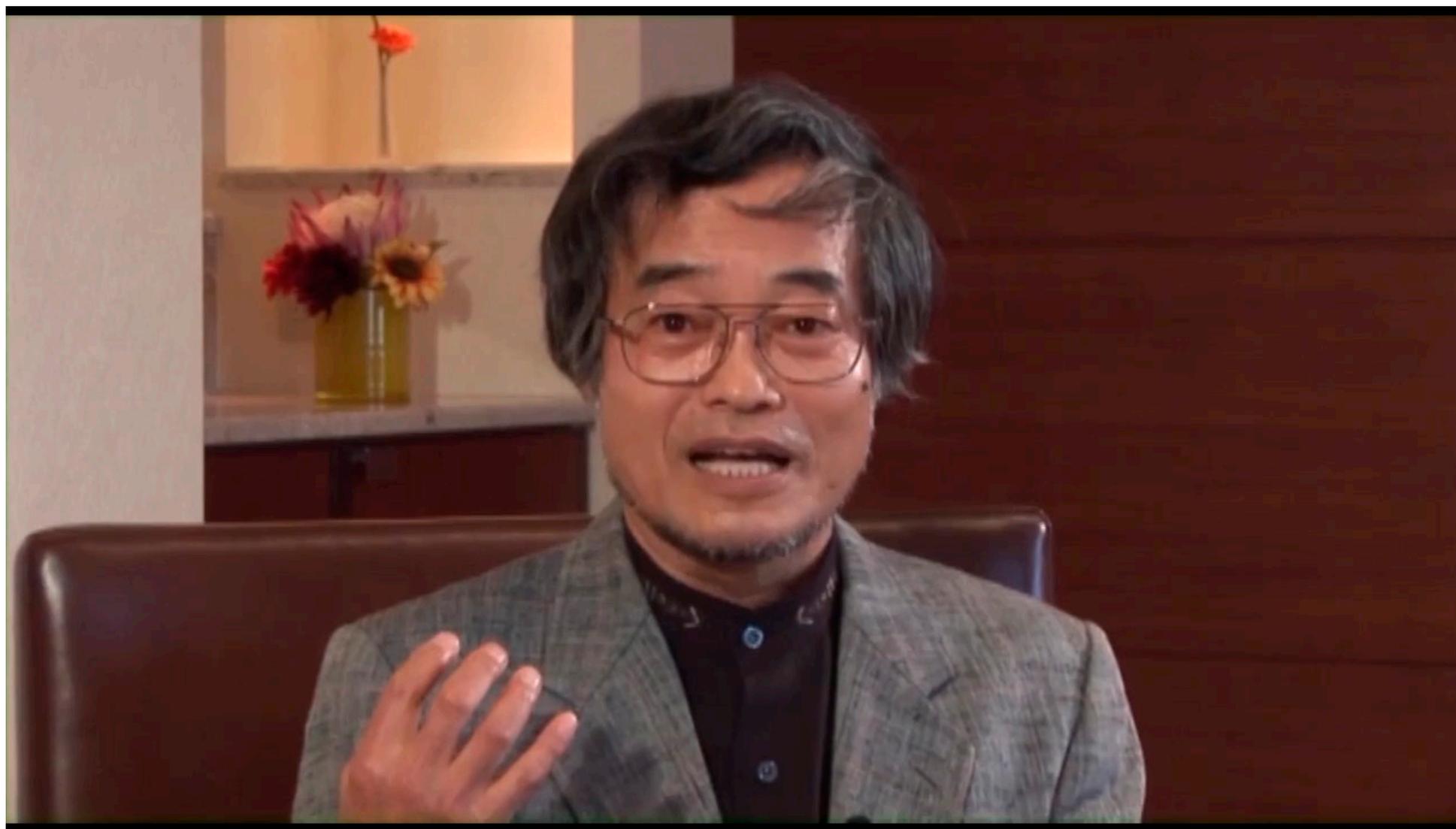
21-1 自宅の前で黒い雨に遭った自分











ホームへ

書名入る

書名入る

世界を広げる本 戦争・平和

さんちき

場面と描写

案内や報告の文章

方言と共通語

文の成分・連文節

私のタンポポ研究

意見と根拠

「写真」の意見文

月夜の浜辺

伊曾保物語

92ページ 祇園祭り

107ページ 作者の言葉

108ページ 言葉の力 一覧

108ページ 言葉を広げよう

ホームへ

書名入る

書名入る >

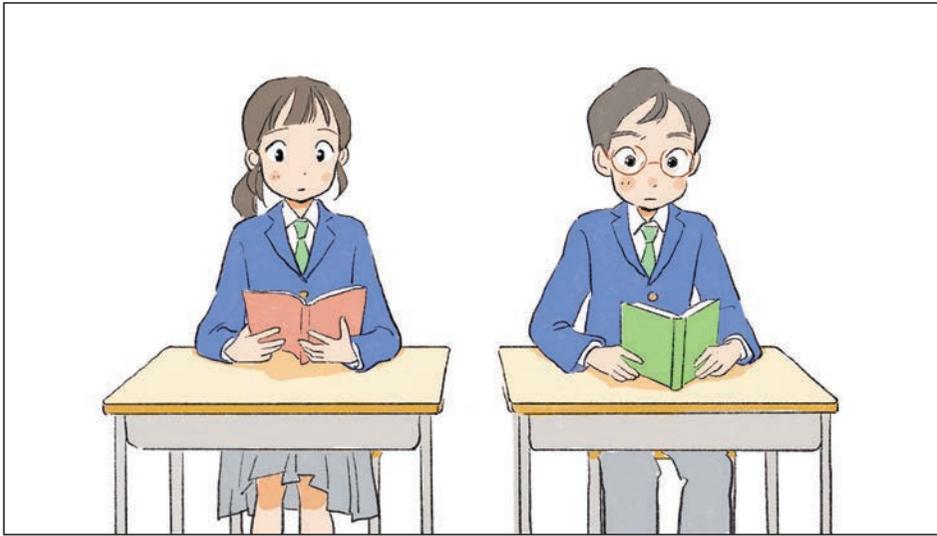
- さんちき >
- 場面と描写
- 案内や報告の文章 >
- 方言と共通語 >
- 文の成分・連文節 >
- 私のタンポポ研究 >
- 意見と根拠 >
- 「写真」の意見文 >
- 月夜の浜辺 >
- 伊曾保物語 >
- 竹取物語 >

110ページ 考えよう

110ページ 詳しい解説

110ページ 練習問題

27-1 考えよう



27-2 詳しい解説

文章の書き方 詳しい解説

場面と描写

【考えよう】

場面の展開や描写は、どのようにして捉えていこうか。

1 場面の展開を捉える

小説は複数の場面が構成され、場面が展開することによってストーリーが進んでいく。場面の展開を捉えるためには、時間や場所の変化や、新しい人物の登場などに着目するとよい。

次の短い作品から、場面の展開を捉えてみよう。

額に流れる汗にも構わず、純平は懸命に走り続けた。朝の日差しが、アスファルトの道に情け容赦なく照りつけていた。純平はときおり腕時計に目をやりながら、もっとペースを上げなくては、と焦った。

生徒を一人、追い抜いた。クラスで隣の席の、奈月だ。「えっ、もうそんな時間だったっけ？」

背後から奈月の声が聞こえたが、純平は振り返ることなく、さらに速度を上げた。校門に着いた純平は、腕時計のデジタル表示に目をやると、「よし」と小さくつぶやいた。

5

27-3 練習問題

文章の書き方

場面と描写

【練習問題】

■ 次の短い作品を読んで、後の問いに取り組みよう。

全速力で駆け戻ってきた私は、大急ぎで家のドアを開けた。一目散に階段を駆け上がり、自分の部屋に飛び込んだ。窓から差し込むきらきらとした朝日を浴びた。いつもと同じ散らかったままの机が視界に入り、うらめしい気持ちになる。黒い通学かばんをベッドの上に投げ出し、机の上をガサガサと掻き回した。

「昨日、夜中までかかってやっと仕上げたのに……。なんぞ消えちゃったの？」

それから二、三分もたっただろうか。逆さたい気分を探していると、背後から母の声がかかった。

「さっき学校に行っただけなのに、忘れ物？ 何を探しているの？」

「宿題のプリント。」

私は振り向きもせず、急に机の上の整理でも始めたみたい。ノートや本を冊ずつめくっては片隅に積み上げていく。

「これじゃないの？」

母の声を聞き、振り返った。左手に通学かばん、そして右手に、探していた数学のプリントを持って、母が立っていた。

「かばんに入ってたわよ。」

(1) この短い作品を、二つの場面に分けてみよう。また、その場面が分かると判断した根拠を書こう。

(2) この短い作品から、「人物描写」「心理描写」「情景描写」に当たる表現を、それぞれ書き出してみよう。

名前		年 組	
		番	

ホームへ

書名入る

書名入る >

- 場面と描写 >
- 案内や報告の文章
- 方言と共通語 >
- 文の成分・連文節 >
- 私のタンポポ研究 >
- 意見と根拠 >
- 「写真」の意見文 >
- 月夜の浜辺 >
- 伊曾保物語 >
- 竹取物語 >
- 矛盾 >

112ページ 言葉の力 一覧

112ページ 活動の具体例

28-1 活動の具体例

① 案内状の例

2025年5月21日
保護者の皆様

山田中学校

体育祭のお知らせ

新緑の候、皆様がたにはいかがお過ごしでしょうか。

さて、恒例の体育祭を次のとおり開催します。ぜひ、生徒たちの練習の成果を見に、ご来場ください。

記

- 1 日時 5月31日(土)
午前9時～午後2時30分
※当日雨天の場合、順延となります。
- 2 場所 山田中学校 校庭
- 3 種目 個人種目：50メートル走ほか
団体種目：クラス代表リレーほか
学年種目：騎馬戦(1年)、
大縄跳び(2年)、
ムカデ競走(3年)
全校種目：紅白対抗綱引き、
ソーラン節

[← メニューへ](#)

各地の方言

[▶ 方言で「ありがとう」](#)

[▶ 方言で「久しぶり」](#)

29-1 方言で「ありがとう」



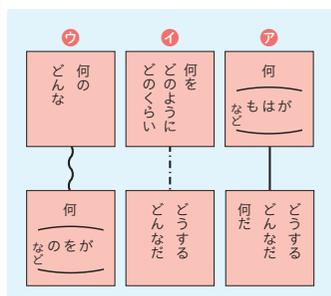
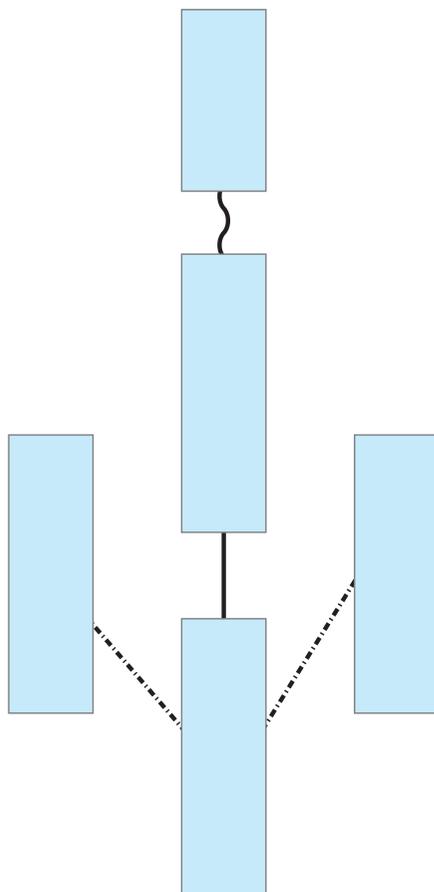
1_方言でありがとう

文節をつなぐ見えない糸
見えないはずの三種類の糸が見えている。
今度は、文節たちを糸に従ってつないでいこう。
全ての文節を使って文章が作れるかな。

①

小さな
公園を
にぎやかに

子供たちが
駆け回る



ステップ1

ステップ2



ステップ1

ステップ2



← メニューへ

多様なタンポポ

全て開く

- ▽ 在来タンポポ
- ▽ 外来タンポポ
- ▽ 雑種タンポポ

31-1 在来タンポポ





研究で大切なこと

ホームへ

書名入る

書名入る >

文の成分・連文節 >

私のタンポポ研究

意見と根拠 >

「写真」の意見文 >

月夜の浜辺 >

伊曾保物語 >

竹取物語 >

矛盾 >

ニュースの見方を考えよう >

原因と結果 >

「似ている言葉」スピ >

118ページ 多様なタンポポ 

125ページ 筆者の言葉 

126ページ 言葉の力 一覧 

126ページ 思考のヒント 一覧 

126ページ 要約の仕方 

126ページ 言葉を広げよう 

33-1 要約の仕方

要約の仕方

要約とは、文章の重要な部分を捉え、短くまとめることである。要約の練習を重ね、文章を正しく理解する力と、的確かつ簡潔に表現する力を身につけよう。

要約とは

文章は一本の木にたとえることができる。書き手の言いたいことが一本の幹で、それに「具体例」や「補足」、「言い換え」といった枝葉が付いている。



要約とは、枝葉を切り落とし、幹の姿を捉える作業である。文章の枝葉を切り落とすことにより、書き手の言いたいことがはっきりと見えってくる。

ホームへ

書名入る

書名入る >

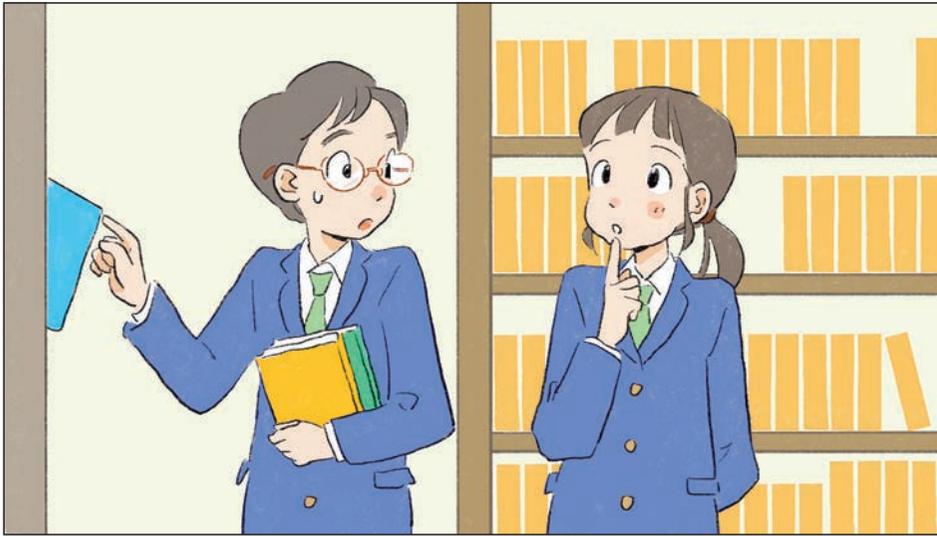
- 私のタンポポ研究 >
- 意見と根拠
- 「写真」の意見文 >
- 月夜の浜辺 >
- 伊曾保物語 >
- 竹取物語 >
- 矛盾 >
- ニュースの見方を考えよう >
- 原因と結果 >
- 「似ている言葉」スピーチ >

128ページ 考えよう

128ページ 詳しい解説

128ページ 練習問題

34-1 考えよう



34-2 詳しい解説

情報と論理の学び 詳しい解説

意見と根拠

考えよう

自分の意見を述べるとき、どの点に気をつけなければいけないだろうか。

1 事実と意見を区別する

【問題】 次の純平の発言で、事実を述べた部分と意見を述べた部分を区別しよう。

駅前に自転車^①が置かれています。だけど、駅の隣には駐輪場^②があるのだから、自転車はその駐輪場に置くべきだと思います。

事実なのか意見なのかは、どうすれば分かるんだろう？

事実^③は確かなことである。それに対して、意見^④は人によって違うかもしれない。

事実 確かなこと

意見 人によって違うかもしれない

34-3 練習問題

情報と論理の学び

意見と根拠

【練習問題】

■ 次の発言で、事実を述べた部分と意見を述べた部分を区別しよう。

① ふだんの会話でもカタカナ語はよく使われる。例えば、注文とかわずに「オダテ」と言ったり、「内容」と言わずに「コンテンツ」と言ったりする。だけど、私は日本語で言えるものはなるべく日本語で言いたいと思う。確かに、カタカナ語でしか表せない新しい言葉もある。しかし、日本語をだいにする気持ちも失ってはいけないだろう。

② 次の発言の①の中で、根拠を挙げて自分の意見を述べた②のものはどれだろうか。

③ 私は辛いカレーが好きなのだが、辛いのが苦手な人もいる。だから、キッチンでのカレーはあまり辛いほうがいいだろう。

④ 自転車は免許なしで誰でも乗ることができるとかきかされて、自動車のよに免許制にしたほうがいいと思う。

⑤ 試験は短ければ、試験によって自分の理解度も確認できずから、やはり試験は必要なんだと思う。

名前		組	

ホームへ

書名入る

書名入る >

- 意見と根拠 >
- 「写真」の意見文
- 月夜の浜辺 >
- 伊曾保物語 >
- 竹取物語 >
- 矛盾 >
- ニュースの見方を考えよう >
- 原因と結果 >
- 「似ている言葉」スピーチ >
- 本のポップ >

130ページ 学習の流れ 

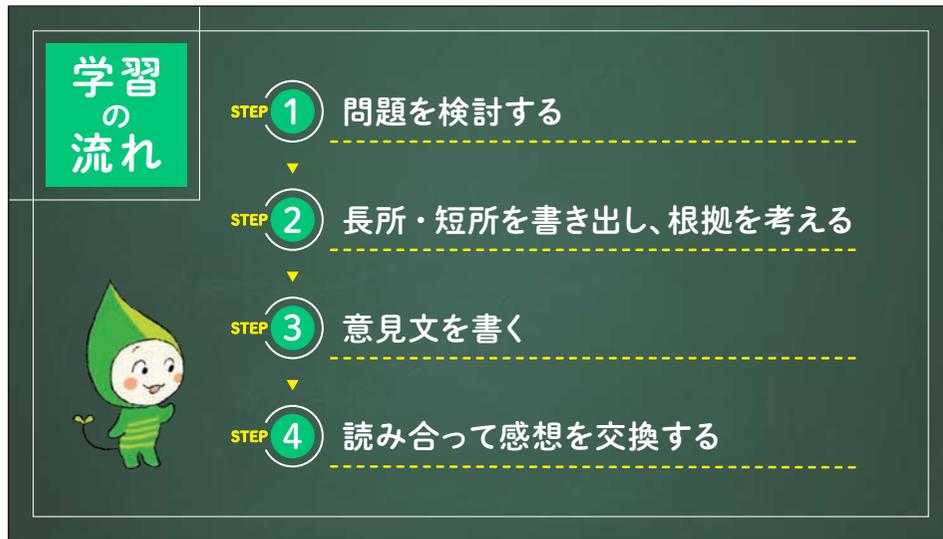
130ページ 言葉の力 一覧 

130ページ 思考のヒント 一覧 

130ページ 活動の具体例 



35-1 学習の流れ



35-2 活動の具体例

B	A		
<ul style="list-style-type: none"> ・気球が大きく膨らみ、歓声が上がったときの様子が写っている。これは、見出しとびつたり合っている。 ・多くの観客が写っており、三年ぶりに開催された高揚感が伝わってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「色とりどりの気球が夏の青空を彩った。」様子が伝わらない。 ・気球のイベントなのに、空に浮かんでいる写真でないのは、気球の魅力が伝わっているとはいえない。 	長所	短所
<ul style="list-style-type: none"> ・青空に浮かぶ多くの気球が写っており、「夏の青空を彩った。」という内容に合っている。 ・色鮮やかなたくさん気球が写っており、読者の目をひきつけ、記事を読む気にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しにもなっていない「歓声」が上がった様子が伝わらない。 ・気球に乗って飛ぶ人のほかに、それを見て楽しんでいる人もいることが伝わらない。 	② AとBの長所と短所を書き出した例	

ホームへ

書名入る

書名入る >

「写真」の意見文 >

月夜の浜辺

伊曾保物語 >

竹取物語 >

矛盾 >

ニュースの見方を考えよう >

原因と結果 >

「似ている言葉」スピーチ >

本のポップ >

少年の日の思い出 >

137ページ 中原中也 >

137ページ 中原中也記念館 >

36-1 中原中也



36-2 中原中也記念館

中原中也記念館 Wakahara Chūya Memorial Museum

● 月曜日（祝祭日の場合は翌日）
● 5月～10月
● 休館日
● 毎月最終火曜日
● 年末年始
● その他展示替え期間などの臨時休館あり

● 開館時間
● 11月～4月
● 午前9:00～午後6:00（入館は5:30まで）
● 5月～10月
● 午前9:00～午後5:00（入館は4:30まで）

中原中也について ご利用案内 アクセス・駐車場 オンラインショップ 過去の展示・館報 収蔵資料データベース

中原中也を
読む会

毎月第4金曜日（変更あり）
13:30～15:00
学芸員と気軽におしゃべりしながら、
中也の世界を読み深めませんか？

展示案内 NEWSリリース 2023/03/20 中也と歩く
瀬田温泉マップ

ホームへ

書名入る

書名入る >

- 月夜の浜辺 >
- 伊曾保物語
- 竹取物語 >
- 矛盾 >
- ニュースの見方を考えよう >
- 原因と結果 >
- 「似ている言葉」スピーチ >
- 本のポップ >
- 少年の日の思い出 >
- 日常生活から生まれる随筆 >

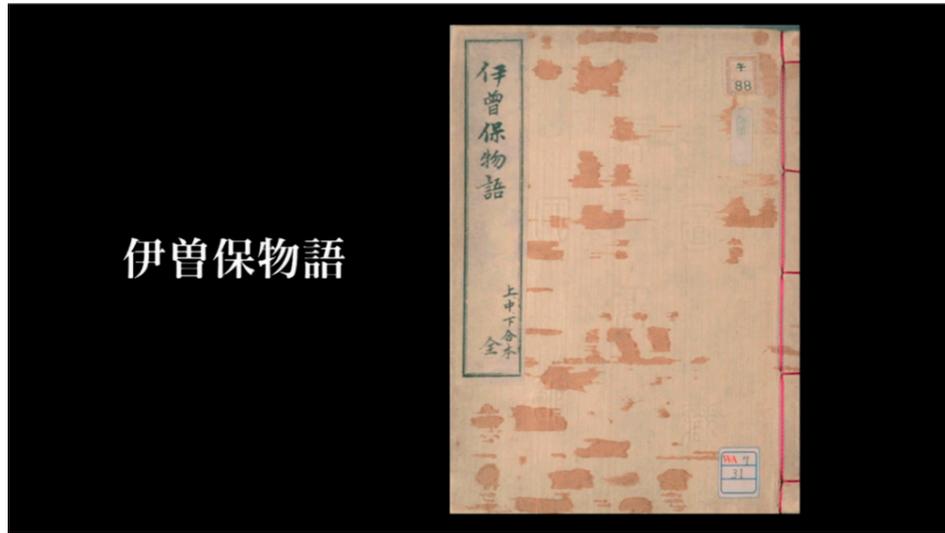
144ページ 伊曾保物語とは 

144ページ 朗読 

146ページ 「鳩と蟻のこと」(古文) 



37-1 伊曾保物語とは



37-2 朗読



37-3 「蟻と鳩のこと」(古文)

伊曾保物語

鳥と蟻のこと

ある川のほとりに、蟻遊ぶことありけり。にはかに水かさ増ざりきて、かの蟻を誘ひ流る。浮きぬ沈みぬするところに、鳩こそよみこれを見て、「あはれなるありさまかな」と、こそをちと食ひ切つて川の中に落としければ、蟻これに乘つて渚に上りぬ。かかりけるところに、ある人、竿の先に鳥もちを付けて、かの鳩をささむとす。蟻心に思ふやう、「ただ今の思を送らむものを」と思ひ、かの人の足にしつかと食ひつきければ、おびえあがつて、竿をかしこに投げ捨てけり。そのものの色や知るしかるに、鳩これを悟りて、いづくともなく飛び去りぬ。

そのごとく、人の思を受けたらむ者は、いかさまにもその報ひをせば、やと思ふ志を持つべし。

ある川のほとりて、蟻遊ぶに、水かさ増えてきて、その蟻をさつて流れる。浮いたり沈んだりしているところに、鳩が枝の先からこれを見て、「かわいそうな様子である。こゝろだなあ」と、枝の先を少しから切つて川の中に落とし、たゞ、蟻はこれに乘つて水際が上がつた。このやうなときに、ある人が、竿の先に鳥もちを付けて、その鳩を捕らえようとする。蟻が心に思うことは、「ただ今の思に報いたのだがな」と思ひ、その人の足にしがかりとかがみつけた。ひどくおびえて、竿をあらに投げ捨てた。(この人は)その出来事の原因、事情が分かつたろうか。(いや、分かるまい)けれども、鳩はこれを理解して、どこへいづくともなく飛び去つてしまつた。

そのよつは、人から思を受けたらむ者は、いかさまにしてでもその思を通したいと思ふ志を持つべきである。

伊曾保物語

鳩と蟻のこと

ある川のほとりに、蟻遊ぶことありけり。にはかに水かさ増さりきて、かの蟻を誘ひ流る。浮きぬ沈みぬするところに、鳩こずゑよりこれを見て、「あはれなるありさまかな。」と、こずゑをちと食ひ切つて川の中に落としければ、蟻これに乗つて渚に上がりぬ。かかりけるところに、ある人、竿の先に鳥もちを付けて、かの鳩をささむとす。蟻心に思ふやう、「ただ今の恩を送らむものを。」と思ひ、かの人の足にしつかと食ひつきければ、おびえあがつて、竿をかしこに投げ捨てけり。そのものの色や知る。しかるに、鳩これを悟りて、いづくともなく飛び去りぬ。

そのごとく、人の恩を受けたらむ者は、いかさまにもその報ひをせばやと思ふ志を持つべし。

ある川のほとりで、蟻が遊んでいることがあった。急に水の量が増えてきて、その蟻をさらって流れる。浮いたり沈んだりしているところに、鳩が枝の先からこれを見て、「かわいそうな様子であることだなあ。」と、枝の先を少しかみ切つて川の中に落とし、たところ、蟻はこれに乗って水際に上がった。このようなときに、ある人が、竿の先に鳥もちを付けて、その鳩を捕らえようとする。蟻が心に思うことには、「たつた今の恩に報いたいのだがなあ。」と思ひ、その人の足にしつかとかみついたところ、ひどくおびえて、竿をあちらに投げ捨てた。(この人には)その出来事の(起こつた)事情が分かつただろうか。(いや、分かるまい。)けれども、鳩はこれを理解して、どこへともなく飛び去つてしまった。

そのように、人から恩を受けたような者は、どのようにしてでもその恩を返したいと思う気持ちを持つべきである。

ホームへ

書名入る

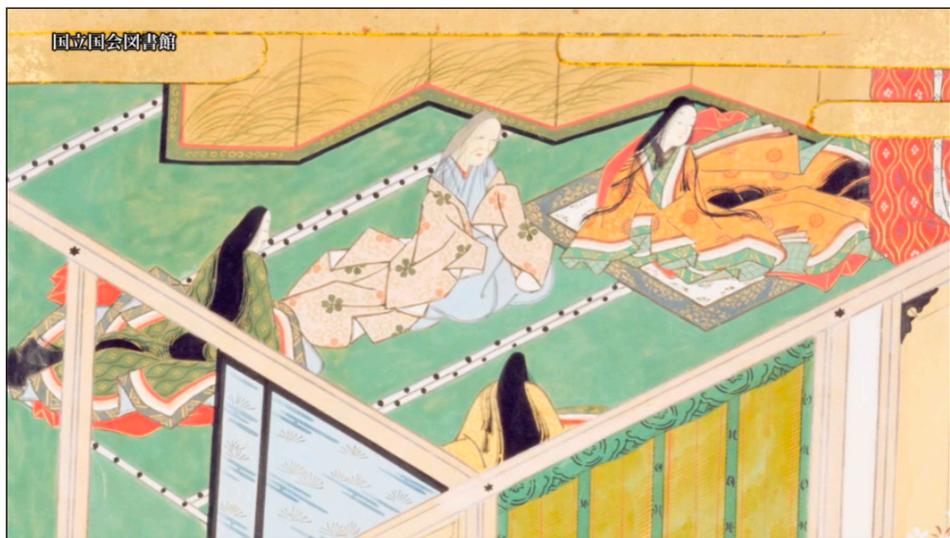
書名入る >

- 伊曾保物語 >
- 竹取物語
- 矛盾 >
- ニュースの見方を考えよう >
- 原因と結果 >
- 「似ている言葉」スピーチ >
- 本のポップ >
- 少年の日の思い出 >
- 日常生活から生まれる随筆 >
- グループディスカッション >

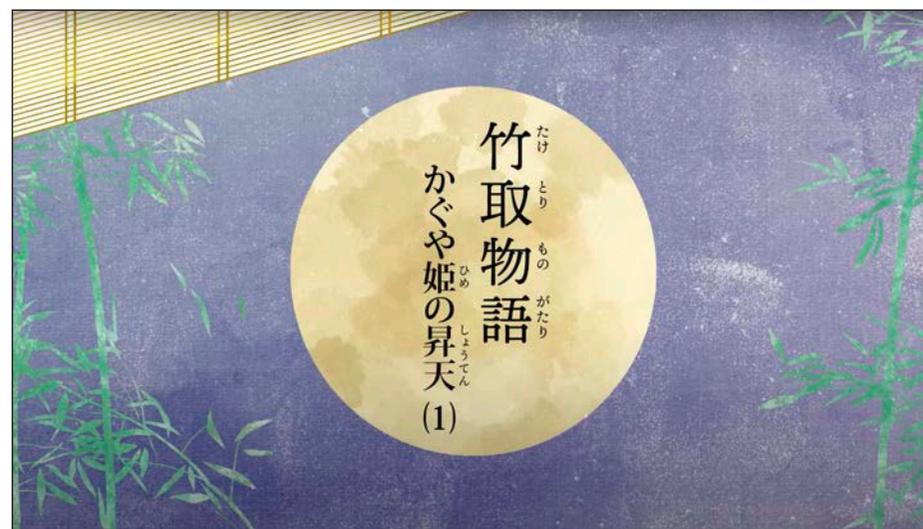
147ページ 竹取物語とは ▶

147ページ 朗読 ▶

39-1 竹取物語とは



39-2 朗読



ホームへ

書名入る

書名入る >

- 竹取物語 >
- 矛盾
- ニュースの見方を考えよう >
- 原因と結果 >
- 「似ている言葉」スピーチ >
- 本のポップ >
- 少年の日の思い出 >
- 日常生活から生まれる随筆 >
- グループディスカッション >
- 単語の分類 >

156ページ 故事成語とは 

156ページ 朗読 

159ページ 「虎の威を借る狐」(書き下し文) 

40-1 故事成語とは



40-2 朗読



40-3 「虎の威を借りる狐」(古文)

虎の威を借りる狐 「戦国策」より

虎、百獸を求めて之を食らふ。狐を得たり。狐曰はく、「子敢へて我を食らふこと無かれ。天帝、我をして百獸に長たらしむ。今、子、我を食らば、是天帝の命に逆らふなり。子、我を以て信ならずと為さば、吾、子が為に先行せん。子、我が後ろに随つて、百獸の我を見て、敢へて走らざるかを觀よ。」と。虎、以つて然りと為す。故に遂に之と與に行く。獸之を見て皆走る。虎、獸の己を畏れて走るを知らざるなり。以爲へらく、「狐を恐るるなり。」と。

虎は、どんなも求めて、食らう。あるまじく狐を捕らせた。狐が言うには「君は私を食へようなことをしてはけない。天の神は、私を全ての獣の長にされた。今、君が、私を食へたら、天の神の命に逆うことになる。君が、私を信じないのなら、私は、私が、君の前を歩いてみよう。君は、私の後ろからついてきて、どんな獣も私を見て、逃げださない。それかどうかを見ることがいい。」と、虎は、もつともだと思つた。そこでどうとう狐といひしよ歩いていって、狐は、それを見て皆逃げだした。虎は、彼らが自分分を恐れて逃げだしたといひ、思ったことには「狐を恐れてゐるのだ。」と。

出典 新編漢文大系

虎とらの威いを借かる狐きつね

「戦国策」より

虎、百獸ひやくしゆうを求めて之これを食きらふ。狐きつねを得とたり。狐きつね曰いはく、「子し敢あへて我わを食くらふこと無なかれ。天帝てんてい、我わをして百獸ひやくしゆうに長ちやうたらしむ。今いま、子し、我わを食くらばば、是天帝てんていの命めいに逆さからふなり。子し、我わを以もつて信しんならずと為なさば、吾われ、子しが為ために先ま行ゆせん。子し、我わが後あとろに随したがつて、百獸ひやくしゆうの我わを見て、敢あへて走しやうらざるかを觀みよ。」と。虎とら、以もつて然しかりと為なす。故ゆゑに遂ついに之これと與ともに行ゆく。獸しゆう之しを見て皆みな走しゆうる。虎とら、獸しゆうの己おのれを畏おそれて走しゆうるを知らざるなり。以もつてへらく、「狐きつねを恐おそるるなり。」と。

出典「新釈漢文大系」

虎は、どんな獣でも求めて食らう。(あるとき)狐を捕らえた。狐が言うには、「君は私を食べるようなことをしてはいけません。天の神は、私を全ての獣の長にされた。今、君が、私を食べたなら、天の神の命に逆らうことになる。君が、私を信じられないのであれば、私が、君の前を歩いてみよう。君は、私の後ろからついてきて、どんな獣も私の姿を見て、逃げださずにいられるかどうかを見るがいい。」と。虎は、もつともだと思った。そこでどうとう狐といっしょに歩いていった。獣たちはこれを見ると皆逃げだした。虎は、獣たちが自分を恐れて逃げだしたということを知らなかった。(虎が)思ったことは、「狐を恐れているのだ。」と。

10

15

エ

20



ホームへ

書名入る

書名入る >

- 矛盾 >
- ニュースの見方を考えよう
- 原因と結果 >
- 「似ている言葉」スピーチ >
- 本のポップ >
- 少年の日の思い出 >
- 日常生活から生まれる随筆 >
- グループディスカッション >
- 単語の分類 >
- 多様性と共生社会 >

167ページ 筆者の言葉

168ページ 言葉の力 一覧

168ページ 「てびき」の資料

43-1 「てびき」の資料

ニュース①

クマ射殺に非難の声

昨日午前11時頃、小学校に侵入したツキノワグマが射殺された。クマの胃は空っぽだったことから、餌を探して市街地まで来てしまったとみられる。この出来事をめぐり、「クマがかわいそう。」「学校で射殺はいかなものか。」といった非難の声が寄せられた。山へ帰すなど、殺す以外の方法がなかったのか、その対応が疑問視されている。

市の担当者によると、クマに限らず、有害鳥獣の捕殺には、常に数件の批判や苦情が寄せられるという。野生動物の生態に詳しい専門家は、「一般的には麻酔で眠らせて山へ帰すのが最善だ。校庭で射殺されたことについては、子供たちに強烈な記憶が残り、クマが出たら射殺するものだと思うのか心配だ。」と話し、児童の心のケアの必要性を訴えた。

ホームへ

書名入る

書名入る >

- ニュースの見方を考えよう >
- 原因と結果
- 「似ている言葉」スピーチ >
- 本のポップ >
- 少年の日の思い出 >
- 日常生活から生まれる随筆 >
- グループディスカッション >
- 単語の分類 >
- 多様性と共生社会 >
- 【文法解説】文法と >

172ページ 考えよう

172ページ 詳しい解説

172ページ 練習問題

44-1 考えよう



44-2 詳しい解説

情報と論理の学び くわ
詳しい解説

考えよう

原因と結果の関係はこうしてだいたいなるのだよ。

1 原因と結果の関係

あることが起こったとき、それを引き起こしたものが原因と呼ばれ、引き起こされたものが結果と呼ばれる。例えば、食べすぎておなか痛くなったのであれば、食べすぎたことが原因で、腹痛という結果が引き起こされたことになる。

さらに、その腹痛のせいで部活を休むようになったのであれば、腹痛は部活を休んだこの原因ということになる。

食べすぎ

原因 ↓

腹痛

結果

部活を休んだ

原因 ↓

腹痛

結果

腹痛は食べすぎの結果でもあり、部活を休んだこの原因でもあるんだね。

そのとおり。このような原因と結果の関係を把握できると、部活を休んだこのもとものが食べすぎにあったことが分かるね。

15
10
5

44-3 練習問題

情報と論理の学び

原因と結果

【練習問題】

■ 次の発言のうち、原因と結果の関係を述べているものはどれだろうか。

- ① 昨日の夜はサラダを食べた。その後、カレーを食べた。
- ② 風船は待来役に立つ。だから、みんな真剣に国語を勉強したほうがよい。
- ③ メールやSNSで新年の挨拶をする人が増えたので、年賀状を書く人が減った。

■ 次の文章の中から、原因と結果の関係を探そう。

大会の初戦に向けて野球部の部員は毎日必死に練習していたが、試合は延期になってしまった。それは、その日に大雨が降ったうえに、強い風も吹いていたからだ。しかし、気落ちする部員を奮めて、その日うちに試合に向けたミーティングをしたことによって、みんなのやる気は高まった。

名前	年 組	番
----	-----	---

ホームへ

書名入る

書名入る

原因と結果

「似ている言葉」スピーチ

本のポップ

少年の日の思い出

日常生活から生まれる
随筆

グループディスカッション

単語の分類

多様性と共生社会

【文法解説】文法と
は・言葉の単位

【文法解説】文の成
分・連文節

174ページ 学習の流れ

174ページ 言葉の力 一覧

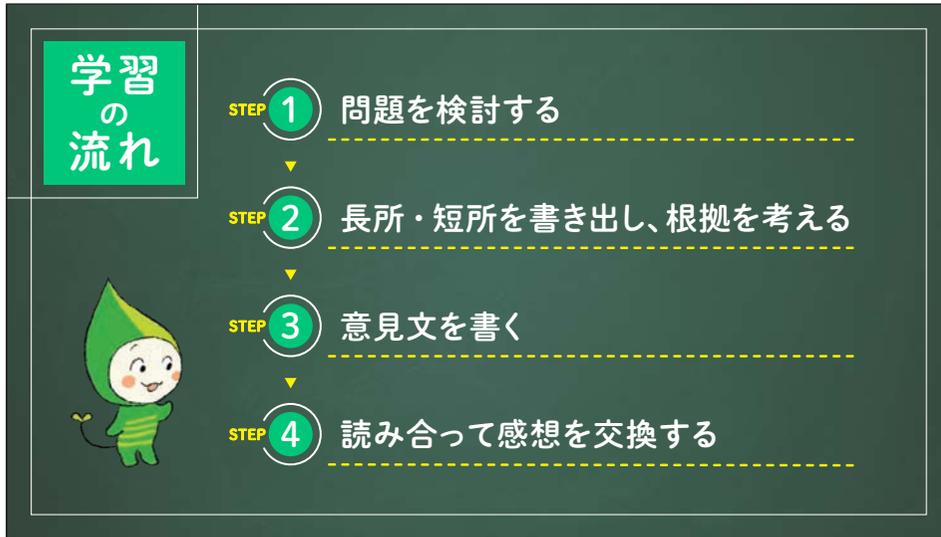
174ページ 思考のヒント 一覧

174ページ 活動の具体例

174ページ デジタル資料室

178ページ スピーチの例

45-1 学習の流れ



45-2 活動の具体例

① 「仮」の言葉の例

・「かわいい」と「チャーミング」	・「濃厚」と「こってり」	・「新鮮」と「みずみずしい」
・「別」と「ほか」	・「触る」と「触れる」	・「あふれる」と「こぼれる」
・「願う」と「望む」	・「寝る」と「眠る」	・「くるむ」と「包む」
・「温かい」と「ぬるい」	・「温か」と「ぬる」と	・「かたかな」と「がさがな」
・「寝る」と「触れる」	・「寝る」と「眠る」	・「うるさい」と「やかましい」
・「かたかな」と「がさがな」	・「かたかな」と「かたかな」	・「うるさい」と「やかましい」
・「かたかな」と「かたかな」	・「かたかな」と「かたかな」	・「うるさい」と「やかましい」

45-3 スピーチの例



← メニューへ

スピーチの例

▶ よい例

▶ 悪い例

ホームへ

書名入る

書名入る >

「似ている言葉」スピーチ >

本のポップ

少年の日の思い出 >

日常生活から生まれる随筆 >

グループディスカッション >

単語の分類 >

多様性と共生社会 >

【文法解説】文法とは・言葉の単位 >

【文法解説】文の成分・連文節 >

188ページ ポップの例 

188ページ 書写の学習 



47-1 ポップの例

太陽ときみの声 川端裕人

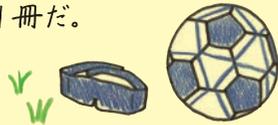
この声は、光だ。

声が強く輝く方向へと、思いきり左足を振り抜いた。

(185ページ)

サッカー部の一輝は、コンビを組む丈助とともに、チームを引っ張っていく予定だった。しかし、難病のため視力が低下し、それまでの生活が変わってしまう。悩みながら新しい一歩を踏み出す一輝の姿に勇気づけられる1冊だ。

思いどおりにいなくて悩んだり、あせったりしている人におすすめ。



47-2 書写の学習

伝統的な日本の食
食文化は、長い歴史を誇る。食文化は、その国の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。食文化は、その国の歴史や文化を伝える重要な役割を果たしている。

好きな本を紹介するポップを作る。書き手を通じて、好きな本について話し合おう。

- 1 題名、内容をまとめる
- 2 下書きを作る
- 3 ポップを作る
- 4 ポップを展示して 感想を伝え合う

1 題名、内容をまとめる

2 下書きを作る

3 ポップを作る

4 ポップを展示して 感想を伝え合う

好きな本を紹介するポップを作る。書き手を通じて、好きな本について話し合おう。

- 1 題名、内容をまとめる
- 2 下書きを作る
- 3 ポップを作る
- 4 ポップを展示して 感想を伝え合う

1 題名、内容をまとめる

2 下書きを作る

3 ポップを作る

4 ポップを展示して 感想を伝え合う

好きな本を紹介するポップを作る。書き手を通じて、好きな本について話し合おう。

- 1 題名、内容をまとめる
- 2 下書きを作る
- 3 ポップを作る
- 4 ポップを展示して 感想を伝え合う

1 題名、内容をまとめる

2 下書きを作る

3 ポップを作る

4 ポップを展示して 感想を伝え合う

好きな本を紹介するポップを作る。書き手を通じて、好きな本について話し合おう。

- 1 題名、内容をまとめる
- 2 下書きを作る
- 3 ポップを作る
- 4 ポップを展示して 感想を伝え合う

1 題名、内容をまとめる

2 下書きを作る

3 ポップを作る

4 ポップを展示して 感想を伝え合う

好きな本を紹介するポップを作る。書き手を通じて、好きな本について話し合おう。

- 1 題名、内容をまとめる
- 2 下書きを作る
- 3 ポップを作る
- 4 ポップを展示して 感想を伝え合う



ホームへ

書名入る

書名入る >

- 本のポップ >
- 少年の日の思い出
- 日常生活から生まれる随筆 >
- グループディスカッション >
- 単語の分類 >
- 多様性と共生社会 >
- 【文法解説】文法とは・言葉の単位 >
- 【文法解説】文の成分・連文節 >
- 【文法解説】単語の分類 >

203ページ ヘルマン・ヘッセ

204ページ 言葉の力 一覧

204ページ 言葉を広げよう

ホームへ

書名入る

書名入る

少年の日の思い出

日常生活から生まれる随筆

グループディスカッション

単語の分類

多様性と共生社会

【文法解説】文法とは・言葉の単位

【文法解説】文の成分・連文節

【文法解説】単語の分類

小学校6年の漢字〈日常〉

206ページ 学習の流れ

206ページ 言葉の力 一覧

206ページ 活動の具体例

206ページ デジタル資料室

50-1 学習の流れ

学習 の流れ

STEP 1 題材を決め、伝えたいことを考える

▼

STEP 2 構成を考え、伝えたい内容を整理する

▼

STEP 3 表現を工夫して随筆を書く

▼

STEP 4 読み合って感想を交換する



50-2 活動の具体例

3 完成作品例②

チヨークとK君

チヨークを見ると、K君のことを思い出す。K君は、小学校のときのクラスメートだ。もの静かて、クラスの中ではあまり目立たない存在だった。でも、僕はK君を尊敬している。というのも、こんなことがあったからだ。

ある日の休み時間、教室の中に大きな音が響いた。ガシャン。誰かが先生の机にぶつかって、チヨーク箱を落としたのだ。チヨークが飛び散り、かけらや粉が広がった。みんなどうしたらいいかわからず、ぼうっと立っていた。

そのとき、ある一人が飛び出した。床にしゃがむと、両方の手のひらをシャベルみたいに、汚れるのも構わず、一生懸命かけらや粉をかき集めた。その後ろ姿こそ、K君だった。

後から教室に入ってきた誰かが、K君が落としたのだと思って、からかうようなことを言った。だが、周りにいた人がかばってくれた。何人かが、かたづけを手伝った。僕は少し離れた所で、その様子を見ていただけだった。

「誰にでもできることを、誰もやらないときにやれる。そういう人こそ、りっぱだと思っ。」

ある日、祖父から聞いた言葉だ。僕は聞きながら、まさにK君のことだと思った。そして、何もできずに立っていた自分のことを後悔した。

K君は中学校進学と同時に引越してしまっだけれど、今でもあの休み時間のことを思い出すと、僕は胸がいっぱいになる。(五四六文字)



ホームへ

書名入る

書名入る

日常生活から生まれる
随筆

グループディスカッション

単語の分類

多様性と共生社会

【文法解説】文法と
は・言葉の単位

【文法解説】文の成
分・連文節

【文法解説】単語の分
類

小学校6年の漢字〈日
常〉

トロッコ

210ページ 学習の流れ

210ページ 言葉の力 一覧

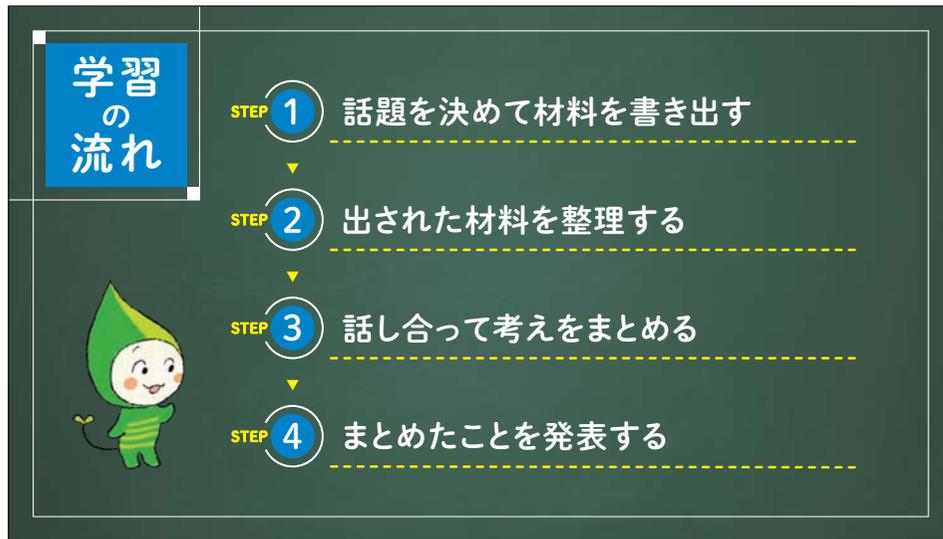
210ページ 思考のヒント 一覧

210ページ 活動の具体例

210ページ デジタル資料室

213ページ 話し合いの例

51-1 学習の流れ



51-2 活動の具体例

② 付箋を貼りながら、よさを出し合う

私たちの学校のよさ

行事

- 県の合唱コンクールで毎年入賞。
- 文化祭の出し物を自分たちで計画。
- 文化祭の劇の完成度が高い。

シオ じゃあ、学校のよさを具体的に出し合おうか。

純平 僕は、やっぱり合唱かな。県の合唱コンクールで毎年入賞しているのはすごいと思う。

詩織 確かに。しかも、生徒が中心になって、自由曲を選定したり、練習スケジュールを立てたりしてるって聞いて驚いた。

奈月 そうだね。私は、文化祭がよかったな。文化祭も、クラスの出し物を自分たちで計画してるよね。そこが楽しかったし、いいところだと思っな。

シオ 僕も文化祭について書いたんだ。三年生の劇を見て、すごく感動しちゃった。合唱コンクールと文化祭は、「行事」という見出しでまとめられそうだな。

(次のページに続く)

1/2

51-3 話し合いの例





メニューへ

ステップ1

ステップ2

始めから

解答

?

しかし まあ あの きれいな 白い 時計 は すぐに 直る そうだ

確認

それだけで [] を 作れない | 作れる

語の形が []

[] になる

[] にならない | なる

[] にならない | なる

[] になる | [] になる

「喜ぶ」「食べる」などに付く

「山」「木」などに付く

言い切りのときの形が []

電子チップ

は そうだ まあ しかし すぐに あの 時計 きれいな 白い 直る

ステップ1

ステップ2

始めから

解答

?

単語分類マシンを完成させよう

左の「単語分類マシン」は未完成。電子チップを正しいところにはめ込んで、完成させよう。(同じものが二か所に入る場合もある。)



ホームへ

書名入る

書名入る >

- グループディスカッション >
- 単語の分類 >
- 多様性と共生社会 >

[文法解説] 文法とは・言葉の単位

- [文法解説] 文の成分・連文節 >
- [文法解説] 単語の分類 >
- 小学校6年の漢字〈日常〉 >
- トロッコ >
- 「言葉の力」一覧 >

230ページ 練習問題 

230ページ 文法解説 一覧 



ホームへ

書名入る

書名入る >

- グループディスカッション >
- 単語の分類 >
- 多様性と共生社会 >
- 【文法解説】文法とは・言葉の単位 >
- 【文法解説】文の成分・連文節
- 【文法解説】単語の分類 >
- 小学校6年の漢字〈日常〉 >
- トロッコ >
- 「言葉の力」一覧 >

233ページ 練習問題 

233ページ 文法解説 一覧 



56-1 練習問題

1 次の下線部の文節は、文の成分としては何に当たるだろうか。

(1) 辺りに甘い匂いが立ち込める。

主語

述語

修飾語

独立語

ボタン位置
切り替え

メニューへ

1/5

ホームへ

書名入る

書名入る >

- グループディスカッション >
- 単語の分類 >
- 多様性と共生社会 >
- 【文法解説】文法とは・言葉の単位 >
- 【文法解説】文の成分・連文節 >
- 【文法解説】単語の分類
- 小学校6年の漢字〈日常〉 >
- トロッコ >
- 「言葉の力」一覧 >

238ページ 練習問題 

238ページ 文法解説 一覧 



57-1 練習問題

1 次の下線部の単語が、体言か、用言か、どちらでもないかを答えよう。

(1) 美しいだけが絵の価値ではない。

体言

用言

どちらでもない

メニューへ

ボタン位置
切りかえ

1/5

← メニューへ

常用漢字一覧

ほカ ン カ ン ひる 干 ⑥	わカ ツ わ れる カ ツ さ わり 割 ⑥	カ カ わ カ ワ 革 ⑥	はカ イ ハ イ 灰 ⑥	読み方 か 漢字 学年	読み方 お 漢字 学年	エ ン の び る の へ る 延 ⑥	読み方 え 漢字 学年	読み方 う 漢字 学年	イ ユ イ 遺 ⑥	イ 胃 ⑥	読み方 あ 漢字 学年
まカ ン ま き 卷 ⑥	か ぶ 株 ⑥	カ フ 閣 ⑥	カ フ 拡 ⑥	わガ れ わ 我 ⑥	オン 恩 ⑥	そエ ラン 浴 ⑥	エ イ は え る う つ す 映 ⑥	ウ 宇 ⑥	イ キ 域 ⑥	こ い と 異 ⑥	読み方 い 漢字 学年

使い方

◀ ▶

小6 小1と5 中3 中2 中1 学年

わ ら や ま は な た さ か あ

総画 部首
で探す で探す

「付表」の語

第49回芥川賞選考会



学習の前に

授業を受けるときには、ノートの書き方を工夫したり、発言・発表の仕方に注意したりしよう。また、言葉や漢字を調べられるように、辞典の使い方確かめておこう。

ノートの書き方の例

① 九月九日 さんちさ
今日のめあて 三吉と親方が、それぞれどんな人物かを探える。

② ◎最初から93ページ7行目まで
〈三吉〉

④ 「見上げると、また、ため息が出た。」(行動態度)
・ほんまに、ええできあがりや。(言葉(会話))
りっぱな車だなあ。
車がよくてきているので感心。

⑤ どのな様子が伝わってくるか。
とても喜んでいる。

⑥ 「また」ということは、何度かため息。
車に見とれている様子。
自分でも、まだ一人前じゃないと思っている。
やろ。(ま)

⑥ 今日まとめ 人物ごとに特徴のある言葉や行動・態度を探すと、どんな人物が見えてくる。
二人の人物の違いにも着目する。

- ① 最初に、学習した日付と、今日のめあてを書く。
- ② ノートの上段には、黒板の内容や先生の指示などを書く。
- ③ ノートの下段には、自分の考えや感想を書く。
- ④ 線を引いたり枠で囲んだり、矢印などの記号を用いたりすると分かりやすくなる。
- ⑤ 後から書き加えることができるよう、余白を取りながら書き進める。
- ⑥ 最後に、今日のまとめや、次への課題を書く。

原稿用紙の使い方・推敲の観点

文章を原稿用紙に書くときには、原稿用紙の使い方(すいこう)に注意しよう。

(1) 原稿用紙の使い方

- 一般的に、題名は一行目に、上から二、三ます空けて書く。次の行に、下から一、二ます空けて氏名などを書く。
- 書きだしや、段落の最初は一字下げる。
- 句読点や符号は原則として一ます使う。「……」「や」「——」は二ます使う。句読点やかぎ括弧() は、行の頭には置かず、前の行の最後のますの中に入れるのが一般的。欄外(らんがい)に書いてもよい。
- 会話文は「」でくくり、改行して書く。句点とかぎ括弧() は一ますに入れる。
- 縦書きで数字を書くときは、原則として漢数字を用いる。

書きだしは一字下げる。

● 題名は、一行目に、上から二、三ます空けて書く。

● 氏名などは、題名の次の行に下から一、二ます空けて書く。

● 句読点やかぎ括弧() は行の頭には置かず、前の行の最後のますの中に入れるのが一般的。欄外(らんがい)に書いてもよい。

20

15

10

5

いつかサワンのように
一年二組二十六番 中村 由実

私が「屋根の上のサワン」を読もうと思っ
たのは、作者が井伏鱒二だったからだ。大好
きな「ドリトル先生」シリーズの記者なので、
同じような楽しい話かなと期待した。

で、

要約の仕方

要約とは、文章の重要な部分を捉え、短くまとめることである。要約の練習を重ね、文章を正しく理解する力と、的確かつ簡潔に表現する力を身につけよう。

要約とは

文章は一本の木にたとえることができる。書き手の言いたいことが一本の幹で、それに「具体例」や「補足」、「言い換え」といった枝葉が付いている。



要約とは、枝葉を切り落とし、幹の姿を捉える作業である。文章の枝葉を切り落とすことによって、書き手の言いたいことがはっきりと見えってくる。

著作権と引用

情報の調査やレポートの作成などの学習に関係する場面に限らず、日常生活の中でも、著作権に注意しなければならないことが増えている。著作権について正しく知り、他人の権利を侵害しないように注意しよう。

著作権とは

創作的に表現された文章や音楽、絵、写真などの作品を著作物といい、作品を作った人を著作者という。著作者は、著作物を無断で利用されない権利（著作権）を持つ。

著作権を持つために、役所などに届け出る必要はない。創作・表現をすると、誰でも自動的に著作者になるんだ。



著作物の例

作文、論文、レポート、小説、詩歌、歌詞、台本
写真、絵画、版画、彫刻、漫画、書道の作品
映画、アニメーション
ゲームソフト、コンピューターソフト など

原則として、本やウェブページなどに載っている文章を、著作者の許可なく複製・転載・改変などしてはならない。著作権は著作者の死後も、法的に定められた期間中、有効である。

